

## 志津川湾水質分析結果概要

○調査日時 令和4年12月20日

○概要

- 1) 水温：表層で11.0～12.1℃，底層で10.7～12.0℃の範囲にあった。
- 2) 塩分：表層で33.6～33.9，底層で33.6～33.9の範囲にあった。
- 3) 無機栄養塩：各項目は以下の範囲内にあった。

リン酸態リン (PO<sub>4</sub>-P) : 10.5～11.8 μg/L

アンモニア態窒素 (NH<sub>4</sub>-N) : 5.6～14.0 μg/L

亜硝酸態窒素 (NO<sub>2</sub>-N) : 5.0～5.5 μg/L

硝酸態窒素 (NO<sub>3</sub>-N) : 42.2～58.1 μg/L

(三態窒素※ 59.7～70.4 μg/L)

※三態窒素とはアンモニア態窒素，亜硝酸態窒素，硝酸態窒素の合計です。

※St.4 沖合海域の1mは欠測です。



調査点図

※本データは、日本財団助成事業の海洋酸性化適応プロジェクト（特定非営利活動法人里海づくり研究会）の一環として、一般社団法人サステナビリティセンターが南三陸町自然環境活用センター及び宮城県水産技術総合センター気仙沼水産試験場の協力の下に行っている調査結果の一部を引用しています。

